

居住人口の増加に資する事例

【富山県富山市 人口：1,016,323人（令和4年） 計画期間：平成29年4月～令和4年3月】

成果

【中心市街地における居住人口の社会増加】

基準値 74人/年（H17-H27） → **240人/年（H28-R3）**

事業概要

【まちなか居住推進事業】

質の高い住宅建設や良質な住宅取得に対して支援

快適なまちなかにふさわしい多様な住宅等を供給する事業者や、住宅を新築・購入または賃貸して居住する市民に対して、それぞれ補助率・限度額を定めて補助。

二地域居住（マルチハビテーション）を対象とした個人向け事業や、共同住宅建設の際に低層階に店舗や医療施設を併設した場合の事業者への補助など、幅広い支援体制の構築により定住人口の増加に寄与。

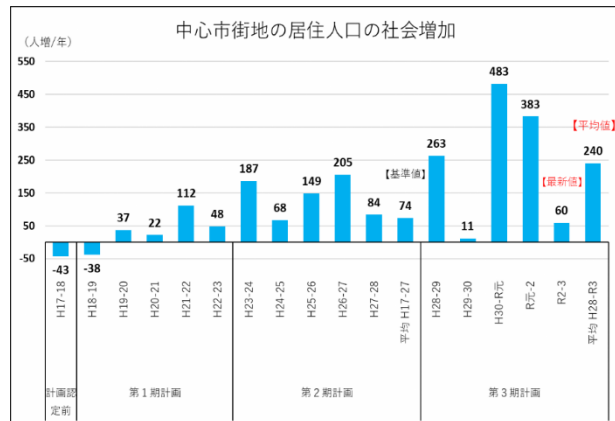
【活用した支援措置】

・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（富山市中心市街地地区）と一体の効果促進事業）（国土交通省）（平成30年度～令和元年度）



◀ 写真
当該事業により建設された
マンション

表：中心市街地の居住人口の社会増加



取組のポイント

- ・コンパクトなまちづくりの実現に向け、【地域の拠点】の魅力をもとめることで、まちなか居住を誘導している。
- ・市街地再開発事業と併せて、まちなか居住に対する事業者、市民の両者を対象とした多様な支援メニューの展開により目標を大幅に超える成果を上げた。
- ・公共交通網の整備も取り入れたことで、住み良い環境が醸成され、民間投資による分譲マンションの建設が続く好循環が生まれている。

【富山市概要】

中心市街地
約436ha

